

# 総合戦略に係る平成27年度の取組について

# 【基本目標1】若い世代の希望をかなえる結婚・出産・子育て環境の創造

## (1)「子どもの輝く笑顔 夢を育むまち 防府」の実現

### 具体的な施策

- (1)「子どもの輝く笑顔 夢を育むまち 防府の実現」
- ① 若い世代の経済的安定と結婚支援
  - ② 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
  - ③ 子育て家庭に対する経済的支援

### 重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
市の制度を利用して正規雇用化した人数	- (年度)	実績なし	50人(5年間の累計※)
婚活イベントによるカップル成立数	- (年度)	イベント実績なし	50組
子育て応援サイトのアクセス数	- (年度)	サイト制作準備	25,000件
病児・病後児保育施設数(累計)	1か所(H26年度)	1か所	2か所
留守家庭児童学級の児童待機数(累計)	62人(H26年度)	40人	0人
「赤ちゃんの駅」登録数(累計)	22か所(H26年度)	34か所	40か所
ファミリーサポートセンターの利用件数	2,278件(H26年度)	3,296件	2,700件
男性の家事育児参加促進のための啓発講座等の参加人数	13人(H26年度)	14人	50人
不妊治療費助成件数	- (年度)	124件	200件
子育て家庭の経済的負担軽減施策に対する市民満足度の割合	7.2%	本年度は調査なし	20%以上
第3子以降の出生数	883人(H21~25年の累計)	196人(H26年参考値)	1,000人(5年間の累計)

※5年間の累計・・・H27～H31の累計(以下同様)

### 平成27年度の取組

- 平成28年度から実施する婚活イベントへの助成制度を設計した。
- 留守家庭児童学級を5学級増設し、うち3学級の運営を開始したほか、ニーズの変化に対応するため、開設時間を延長した。
- 「赤ちゃんの駅」の整備にかかる経費の助成制度を創設し、3か所の整備に対して助成を行った。
- 男性向け料理教室を1回開催し、14名の参加があった。
- 一般不妊治療に対して124件の助成を行うとともに、平成28年度から実施する特定不妊治療に対する新たな助成制度を設計した。
- 未就学児童への医療費助成に加え、小学校入学から卒業までの児童に対する医療費助成を行った。
- 多子世帯の児童の保育料を軽減したほか、平成28年度から実施する第3子以降の子どもの出生時や小中学校入学時にお祝いとして市内共通商品券を贈る制度を設計した。

(1)「学ぶなら防府」の実現

具体的な施策

(1)「学ぶなら防府」の実現

- ① 地域とともにある学校づくりの推進
- ② 次代を拓く児童生徒の「学ぶ力」の育成
- ③ 家庭・地域の教育力の向上

重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
小中学校の授業へ参画した外部人材の述べ人数	830人(H26年度)	3,574人	3,000人
放課後子ども教室開設箇所数(累計)	10か所(H26年度)	12か所	15か所
授業の内容がよく分かったと答えた児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	小学校81%(H26年度) 中学校74%(H26年度)	小学校81% 中学校77%	小学校90%以上 中学校80%以上
勉強が好きだと答えた児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	小学校60%(H26年度) 中学校60%(H26年度)	小学校62% 中学校66%	小学校70%以上 中学校70%以上
三世帯同居・近居に対する支援制度の利用件数	- (年度)	平成28年度から実施	100件
「(仮称)幸せます人材バンク」登録者数(団体含む)	127人(H26年度)	128人	200人

平成27年度の取組

- ・ 市内小中学校の授業において、外部講師や地域住民など、3,574人の外部人材が参画した。
- ・ CSコンダクターを配置し、コミュニティ・スクールの指南書を作成したほか、学校運営協議会の小・中合同開催などにより校種間の連携を強化した。
- ・ 教育課程特例校である富海小学校・中学校において、小中一貫型教育のカリキュラムについて研究した。
- ・ 土曜授業を市内全小中学校で実施し、防府市“夢”プロジェクト「菅公みらい塾」には48名の参加があった。また、「放課後子ども教室」を市内12か所で開設した。
- ・ 全国学力・学習状況調査の結果を分析・検証し、授業改善に取り組むとともに、富海小中学校及び向島小学校において、山口大学とICT機器を活用した学習について共同研究を行った。
- ・ 家庭・地域の教育力向上を図るため、「防府市三世帯同居支援制度」の制度設計や「(仮称)幸せます人材バンク」の運営体制の整備を行った。

(1) 防府市の特性を活かした産業力の強化

具体的な施策

(1) 防府市の特性を活かした産業力の強化

- ① 企業誘致の推進
- ② 重要港湾三田尻中関港の機能強化
- ③ 地場産業・既存中小企業の育成
- ④ 創業しやすい環境づくり

重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
企業誘致優遇措置指定件数	3件(H26年度)	4件	24件(5年間の累計)
コンテナ年間取扱貨物量	44,452個(H26年度)	集計中	53,000個
潮彩市場防府来客数	449,572人(H26年度)	606,309人	600,000人
オフルート・クルーズ参加者数	83人(H26年度)	219人	400人(5年間の累計)
クルーズ船寄港回数	—(年度)	1回	3回
売れるものづくり事業による新製品開発着手事業者数	1社(H26年度)	0社	7社(5年間の累計)
空き店舗活用促進事業を活用した店舗のうち継続して出店している店舗数	17店舗(H26年度)	20店舗	30店舗
まちなか店舗リフォームの活用件数	—(年度)	34件	250件(5年間の累計)
関係支援機関の支援による創業数	52件(H26年度)	49件	250件(5年間の累計)

平成27年度の取組

- ・ 「防府テクノタウン」への企業進出実現のため、大和ハウス工業、県及び関係機関と連携して誘致活動を行った。
- ・ 潮彩市場防府が「道の駅」に登録され、駐車場、案内標識のほか、トイレ改修等の整備を行った。
- ・ 野島海運が所有する定期船を、定期航路以外の航路で乗客を乗せるオフルートクルーズに活用し、3度の実施で延べ219人の参加者があった。
- ・ 4年ぶりとなる「につぼん丸」の三田尻中関港寄港に際し、歓迎イベントを開催し、船社から高い評価を受けた。
- ・ 「売れるものづくり事業」を活用し、3社が販路拡大の取組を開始した。
- ・ 「まちなか店舗リフォーム事業」では、34件の利用申請があったが、補助対象地区を限定していたため、申請者数が当初想定より下回った。
- ・ 防府商工会議所との共催で「創業フォーラム」、「創業塾」、「ビジネスプランコンテスト」を開催したほか、創業包括支援協定に基づき、山口銀行との共催によるセミナー、東山口信用金庫との共催によるフォーラムをそれぞれ開催した。

(2) 第一次産業の担い手育成と経営基盤の強化、(3) 防府ブランド“幸せます”を核とした観光振興

具体的な施策

- (2) 第一次産業の担い手育成と経営基盤の強化
  - ① 農業の担い手育成と経営基盤の強化
  - ② 地元水産物の消費拡大の推進と担い手育成
- (3) 防府ブランド“幸せます”を核とした観光振興
  - ① 観光まちづくり体制の整備
  - ② 明治維新150年を契機とした観光需要の拡大

重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
農業新規就業者数	3人(H26年度)	5人	25人(5年間の累計)
新規就農支援事業を活用した件数	—(年度)	4件	20件(5年間の累計)
農地利用集積割合(認定農業者・特定農業法人等管理水田面積割合)	28%(H26年度)	28%	50%
特定農業法人数(累計)	3団体(H26年度)	3団体	5団体
6次産業化・農商工連携の支援件数(農業)	—(年度)	事業未実施	3件(5年間の累計)
6次産業化・農商工連携の支援件数(水産業)	—(年度)	事業未実施	3件(5年間の累計)
漁業新規就業者数	1人(H26年度)	0人	7人(5年間の累計)
観光案内所利用者数	11,885人(H26年度)	13,064人	13,000人
「(仮称)幸せますステーション」認定店舗数	—(年度)	23店舗	40店舗(5年間の累計)
着地型旅行商品の造成数	—(年度)	10件	10件(5年間の累計)
「地旅」参加人数	422人(H26年度)	423人	600人
観光客数	1,866,333人(H26年度)	集計中	2,200,000人
ブランド総合研究所による地域ブランド調査の認知度ランキング	404位(H26年)	集計中	50位以内

平成27年度の取組

- 平成27年11月に「農林水産業まつり」を潮彩市場防府で開催するなど、本市の農水産物の販路拡大と交流拠点としてのポテンシャルを高めることができた。
- 農業従事者の確保にあたり、新規農業者に対して機械等導入費の一部を補助した。
- 地域における「人・農地プラン」の見直しを通じて、地域農業のあり方等について、幅広い関係者による検討の支援を行った。
- インバウンド客誘致も視野に入れた観光プロモーション動画「タイムラプス防府」を制作した。
- 観光情報や旅行商品等を一元管理するワンストップ窓口である「観光まちづくりプラットフォーム」の整備に向け、その核となる観光協会の運営体制強化を図った。
- 観光協会が主体となり、「藍染体験」や「きもの歴まちあるき」といった着地型旅行商品素材を整備した。
- 4年ぶりとなる「につぼん丸」の三田尻中関港寄港に際し、歓迎イベントを開催し、船社から高い評価を受けた。(再掲)

(1) 防府市への定住に向けた市内就職の促進、(2) 防府市への移住促進

具体的な施策

- (1) 防府市への定住に向けた市内就職の促進
  - ① 地元学生等への就職機会の拡大
  - ② 高齢者や障害者等への就労に向けた支援
- (2) 防府市への移住促進
  - ① 県外大学生等の防府市への就職の促進
  - ② 幅広い世代に対する還流・移住の促進
  - ③ 教育関連施設や企業等の防府市への移転促進

重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
企業ガイダンス参加者数	— (年度)	130人	300人
企業ガイダンス参加企業数	— (年度)	13社	30社
高校卒業就職者のハローワーク防府管内(山口徳地含む)の就職率	60% (H26年度)	59%	65%
シルバー人材センター会員数	1,105人 (H26年度)	1,097人	1,200人
障害者就労ワークステーションから企業への就労者数	— (年度)	2人	6人 (5年間の累計)
進学者を対象とした(仮称)企業情報提供バンクの登録率	— (年度)	バンク未設置	60%
定住促進奨学金の利用人数	1人 (H26年度)	3人	10人
人材確保に対する支援制度を活用した企業数	— (年度)	実績なし	50社 (5年間の累計)
UJIターン相談件数	20件 (H26年度)	31件	200件
相談を通じて移住した世帯数	0世帯 (H26年度)	1世帯	10世帯 (5年間の累計)
地域おこし協力隊活用人数	— (年度)	2人	6人 (5年間の累計)
本社機能等の移転件数	— (年度)	実績なし	2社 (5年間の累計)

平成27年度の取組

- ・ 情報誌・検索サイトの制作や、企業ガイダンスを実施し、進路選択時期にある地元高校生へ、「地元企業への就職」について具体的に働きかけを行った。
- ・ 若者の人材定着の基礎となる、職業的自立を促すため、市内事業所において、カウンセリング(仕事の悩み相談等)や研修(ビジネスマナー研修等)を行った。
- ・ 「(公社)シルバー人材センター」の運営補助を行ったほか、「防府地域職業訓練センター」の運営を行った。
- ・ 障害者就労ワークステーションを運営し、職業訓練等を支援した2名が一般企業に就労した。
- ・ 通信事業者と協定を締結し、中心市街地へのIT企業等のサテライトオフィス誘致に有効となるクラウド環境の整備に足がかりをつけるとともに、誘致プロモーションを開始した。
- ・ 移住プロモーション動画や移住パンフレットを作成するとともに、東京で開催された移住フェアへ2回出展し、移住希望者に向けた積極的な情報発信を行った。

# 【基本目標5】 元気みなぎるコンパクトシティの形成

(1) 活力ある都市核づくりと地域を繋ぐ交通ネットワーク形成、(2) 地域コミュニティの活性化

## 具体的な施策

- (1) 活力ある都市核づくりと地域を繋ぐ交通ネットワーク形成
  - ① 活力ある都市核づくりの推進
  - ② 都市核と地域を繋ぐ交通ネットワーク形成
- (2) 地域コミュニティの活性化
  - ① 学校を核とした地域づくりと多世代家族形成の推進
  - ② 中山間地域等におけるコミュニティの活性化

## 重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
中心市街地の1日の通行量(休日)	9,412人(H26年度)	9,644人	13,500人
文化施設利用者数	266,329人(H26年度)	240,827人	320,000人
路線バス(市内で完結する系統)利用者数	306,000人(H26年度)	集計中	330,000人
地区集会施設(単位自治会館等)数(累計)	153か所(H26年度)	153か所	160か所
自主防災組織率	98%(H26年度)	100%	100%
富海小中学校の児童生徒数	87人(H26年度)	92人	120人
向島公民館の利用者数	10,130人(H26年度)	9,363人	12,000人
小野小中学校の児童生徒数	218人(H26年度)	211人	218人
小野公民館の利用者数	10,331人(H26年度)	11,866人	12,000人
タブレットを用いた年間平均授業時間数(富海小中、向島小)	—(年度)	97時間	100時間
茜島シーサイドスクール事業の児童生徒数	5人(H26年度)	6人	5人

## 平成27年度の取組

- まちづくり防府が行うにぎわい創出イベントの経費の一部を補助したほか、IT企業等のサテライトオフィスを誘致するため、全国初となるインターネットクラウド環境の構築を手がけた。また、宮市地区の電線類地中化工事と山頭火ふるさと館建設工事に着手した。
- バスの利用促進イベントを実施したほか、地域内フィーダーの実証運行として、切畑地区においてデマンドタクシーの運行を開始した。また、高齢者の外出を促すため、バス及びタクシー運賃の一部を助成したほか、利用しやすい制度とするため、非課税要件及び自動車所有要件の見直しを行った。
- 地域による子どもたちの見守り活動を実施したほか、自主防災組織の結成や活動等に対する支援・補助を行った。
- 富海地域において、小学校・中学校の小規模特認校制度により7名の児童・生徒が就学した。
- 富海地域の活力創生に向け、地域おこし協力隊の参加による藍染工芸の取組や、三世帯同居等住宅基本構想の策定等を行った。

# 【基本目標5】 元気みなぎるコンパクトシティの形成

## (3) 安心して暮らせる基盤づくりの推進、(4) 都市経営システムの充実

### 具体的な施策

- (3) 安心して暮らせる基盤づくりの推進
  - ① 地域包括ケアシステムの構築
- (4) 都市経営システムの充実
  - ① スtockマネジメントの強化
  - ② 自助・共助によるまちの活性化を支える仕組みづくり
  - ③ 産・学・金との連携や広域連携の推進

### 重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
認知症サポーター数	3,073人(H26年度)	3,831人	6,000人
地域包括支援センター相談件数	35,771件(H26年度)	37,956件	39,000件
公共施設の統合・複合化件数	—(年度)	0件	2件(5年間の累計)
市民活動支援センターの登録団体数	214団体(H26年度)	201団体	240団体
県内大学との共同研究等の実施件数	3件(H26年度)	2件	15件(5年間の累計)

### 平成27年度の取組

- ・ 介護予防に関する普及啓発や、一次介護予防事業を行ったほか、地域包括支援センターの訪問等により二次介護予防対象者を把握し、二次介護予防事業を行った。
- ・ 認知症サポーター養成講座を27回開催し、累計サポーター数は3,831人となったほか、個別、圏域別、全市の3段階で計19回の地域ケア会議を開催した。
- ・ 「防府市公共施設再編計画」を策定し、公共施設の再編・効率化について、分類別の方向性を示した。
- ・ 空き家実態調査として戸数や場所、不良度について調査を行ったほか、防府市空家等対策協議会を設置し、空家等対策計画作成に関する協議を行った。
- ・ 防府市地域協働支援センターによる市民活動団体に対する講座や活動場所の提供を行ったほか、ボランティア会議や防府市参画及び協働の推進に関する協議会、協働に関する職員研修を開催した。
- ・ 山口県立大学と2件の共同研究を実施したほか、東山口信用金庫と山口銀行・(株)YMFG ZONE プラニングと地方創生に係る包括連携協定を締結した。